

# 21世紀の 工芸に できること

—もののちからを再認識するために—

日時 2011年5月18日 (水)  
14:30~16:30 (開場14:00)

会場 京都新聞文化ホール  
京都市中京区烏丸夷川 京都新聞社7階  
(地下鉄烏丸線「丸太町駅」7番出口すぐ)

入場無料

定員 申込先着200名

## 第1部 基調講演

稲賀繁美 (国際日本文化研究センター教授)

デジタル技術が進歩し、仮想現実が物質の限界を凌駕しようとする21世紀前半期に、手でものを造ることには、いかなる意義があるのだろうか。  
手作りのものが秘める力。それを、作り手から流通の世界、消費の世界に伝達し、分かち合うには、いかなる工夫が必要なのだろうか。  
作り手とは何なのか。技能保持者か個人作家か、職人氣質かアーティスト志向か、  
藝術家なのか企業主なのか。  
制作の現場は、なぜそうした二者択一の選択肢のあいだで逡巡せねばならないのだろうか。  
わざを伝え、ものづくりの智恵を将来に生かす営み。  
工芸の可能性を、出席者の皆様とともに、原点に戻って問い直したい。

## 第2部 パネルディスカッション

出席者 稲賀繁美  
唐澤昌宏 (東京国立近代美術館 工芸課長)  
森口邦彦 (重要無形文化財 友禅 保持者)

司会 渡邊 明 (日本工芸会理事)

● 事前申込が必要ですが、どなたでも参加していただけます。  
FAXかe-mailにて下記までお申し込みください。[5月10日締切]

申込FAX 075-252-2177  
e-mail kinki@nihon-kogeikai.com

問合せ先 日本工芸会近畿支部 TEL 075-252-5205

第40回  
日本伝統工芸近畿展 京都展

5月18日(水)~23日(月)  
京都高島屋 グランドホール <7階>

入場料 500円  
シンポジウムに参加された方には  
招待券を差し上げます。

日本工芸会HP  
www.nihon-kogeikai.com

## 公開シンポジウム申込書

ふりがな  
お名前

ご連絡先TEL — — e-mail @

※ 先着順の受付ですので満席でご参加いただけない場合は事前に連絡させていただきます。  
受講票はありませんので当日直接会場にお越しください。